



## 2022年「福岡いのちの電話」会報に寄せて

福岡いのちの電話 理事

**宮崎 信義**

(久山療育園重症児者医療療育センター 理事長)



2020年4月7日に新型コロナウイルス感染症パンデミック（世界的流行）が日本にも押し寄せ、「緊急事態宣言」（1回目）が7都府県（東京・大阪・名古屋・千葉・埼玉・兵庫・福岡）に発令（第1波）されました。以来、「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」と対応策が次々と発出され、2022年1月7日には、日本医師会が新型コロナウイルスの感染の“第6波”とみなされると公表しました。発生から3年余り、世界中で私たちの身に感染の危険が迫り、特に重い合併症を持っておられる方々、高齢や免疫力の弱い方々は不安な毎日だと思います。私が勤務する重症心身障害施設「久山療育園重症児者医療療育センター」でも、特に感染抵抗力が弱い方々への感染防止に日夜留意しています。また、新型コロナウイルスの予測を上回る感染力や病原性から、地域の交わりや経済への危機が懸念されています。その結果、外出禁止、三密回避、外食産業や小売業を中心とした事業の制限が進められ、特に非正規雇用やアルバイトの方々の職が奪われています。

今年度4月28日に開かれた「福岡いのちの電話」の理事会に私もオンラインで参加致しましたが、「福岡いのちの電話」の役割である心のケアの根源には、生命の尊厳や生活不安に対する要素が大きいと感じていましたので、相談件数や相談内容に注目致しました。

特に事業報告や会計報告にもその要素が反映され、相談件数の増加として現れていました。私はキリスト教徒ですが、相談員の方々の粘り強いお働きが「傾聴性」に繋がり、通話者の心に寄り添う相談員（ボランティア）にはいつも敬意を覚えています。しかし、共に向き合うことで痛みを覚える機会があることも承知しています。聖書（マタイによる福音書19章19節）には「隣人を自分のように愛しなさい」と告げられ、「見てもらおうとして、人の前で善行をしないように注意なさい。さもないと、あなたがたの天の父のもとで報いをいただけないことになる。」（マタイによる福音書6章1節）と教えられています。このように、私どもは、現世では善行と言えども必ずしも報いを得るわけではなく、また報いを求めることを控えるように教えられています。ただ理事としては見守るしかないので、相談員や電話してこられた方々の平安を祈っています。





# 2022(令和4)年度 事業計画

## 1. 相談事業の充実

- ①電話相談
  - ・24時間年中無休体制の円滑な維持のために十分な相談員数の確保に努める
  - ・環境の整備を図り、より質の高いサービスを提供できるように努力する
- ②インターネット相談
  - ・インターネット対応の相談活動として、パソコンによるメール相談を継続する
- ③フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」への参加、実施(厚労省補助事業)

## 2. 相談員の養成・研修とサポートシステムの充実

- (1) 電話相談
  - ①相談員の養成研修を実施
    - ・第47期生の養成実施(2021年10月6日~2023年9月)
    - ・第48期生の養成実施(2022年10月開講予定)
    - ・電話相談員養成サポーターによる養成講座の運営補助
  - ②相談員の活動更新のために
    - ・全体研修(年4回)の実施
    - ・フリーダイヤル研修(日本のちの電話連盟)の実施
    - ・グループ・スーパービジョン(9グループ月1回)の実施
  - ③電話相談員養成サポーター養成ならびに継続研修講座の実施
- (2) インターネット相談
  - ①相談員の養成研修
    - ・ネット相談員養成を実施(連盟主催の養成講座)
  - ②相談員継続研修
    - ・継続研修の実施(年2回、連盟主催、福岡主催)
    - ・インターネット相談運営委員会への参加(連盟主催)
- (3) その他の研修の推進
  - ・自主研修会等の実施
  - ・「リフレッシュ研修」の実施
  - ・九州・沖縄地区相談員ワークショップ福岡大会の開催
  - ・全国研修大会等への参加推進
- (4) 相談員のケアシステムの充実
  - ・相談員のケア研修の実施
  - ・強いストレスを受けた相談員への個人スーパービジョン実施

## 3. 広報活動のより一層の推進

- ①「福岡いのちの電話会報」の年4回発行
- ②福岡いのちの電話紹介リーフレットの発行
- ③事業報告書の発行
- ④新聞・テレビ等を通じての広報活動を実施
- ⑤ホームページによる広報

## 4. 募金活動のより一層の推進

- ①安定した運営のために、資金確保に向けた募金活動を鋭意、推進する
- ②後援会組織を充実し、連携強化により組織の活性化を図る
  - ・チャリティイベント等の開催
  - ・事業ボランティア活動の充実

## 5. 各種委員会の開催

理事会、評議員会、教育委員会、相談活動運営委員会などの各種委員会の定例的開催により、組織を充実させ民主的に運営する

## 6. 会員相互の親睦と活動の活性化を図る

- ①福岡いのちの電話会員総会を開催
- ②内部広報誌「りーんりん」の随時発行
- ③班(曜日班、活動班)活動の充実と活性化による相談員相互の交流促進
- ④「開局記念の集い」の開催

## 7. 統計資料の整備充実

相談事業における統計資料を整備するとともに内容の精密な分析等を行う

## 8. 他の相談機関等との連携

- ・他の電話相談機関、関連機関と緊密な連携に努め、社会資源資料の充実を図る
- ・関係機関会議への出席

## 9. 自殺予防対策啓発事業の取り組み

- ・市民、地域に対し、自殺予防に対する関心を高め理解を深める事業を行う
- ①自殺予防公開講座の開催
- ②福岡県自殺対策啓発事業への参画
- ③福岡市自殺対策事業への参画
- ④企業、団体に向けたメンタルヘルス講座の開催

## 10. 講師等の派遣

- ・支援団体等からの要請に応じ、卓話や講演などを行う

## 社会福祉法人福岡いのちの電話 理事・評議員・監事名簿

理事長	久保 千春	(中村学園大学学長、医師)
副理事長	濱生 正直	(学校法人九州聖公会園理事長、牧師)
常務理事	五斗美代子	(元福岡市部長、臨床心理士)
理事	五十嵐 実	((株)福岡住宅センター 代表取締役社長)
〃	林 寛篤	(南蔵院副住職)
〃	瀬里 徳子	(元福岡市子ども総合相談センター、臨床心理士、公認心理師)
〃	宮崎 信義	(久山療育園センター長、医師)
〃	楯林 英晴	(福岡県精神保健福祉センター所長、医師)
〃	豊田 康弘	(西部ガスホールディングス(株)常務執行役員)
〃	長谷川 彰	(西日本新聞社編集局社会部 編集委員)
〃	山口 哲史	(相談活動運営委員会 委員長)
〃	松原 妙子	(監国法律事務所 弁護士)
評議員	川崎 弘詔	(福岡大学医学部教授、医師)
〃	権藤 説子	(税理士)
〃	大野 道雄	(徳栄寺 住職)
〃	園田 紀子	(福岡市博多区保健福祉センター長 医師)
〃	繁田 公志	(しげた消化器・外科クリニック院長、医師)
〃	三笠 和弘	(福岡市市民局男女共同参画部長)
〃	見元伊津子	(医療法人同仁会 乙金病院理事長、医師)

評議員	河邊 哲司	(株式会社久原本家グループ本社 代表取締役社長)
〃	横尾 誠	(西日本新聞社 編集局社会部長)
〃	張 正好	(福岡市社会福祉協議会、地域福祉専門員)
〃	小田原睦子	(福岡市民生委員・児童委員協議会会長)
〃	野田フミコ	(福岡県更生保護女性会会長)
〃	福島あい子	(弁護士)
〃	横内 法子	(福岡市子ども総合センター所長)
〃	川口 貴子	(福岡県精神保健福祉センター所長、医師)
〃	佐藤 正幸	(福岡県私学振興・青少年育成局青少年育成課 係長)
〃	金子 英次	(ボランティア代表)
〃	桑田 勝年	(ボランティア代表)
〃	岩村 哲生	(ボランティア代表)
〃	原田 眞理	(ボランティア代表)
監事	川野 康之	(川野公認会計士事務所、公認会計士)
〃	吉野 正	(吉野・宮下法律事務所、弁護士)
顧問	中川 哲也	(元理事長、医師)
〃	林 寛乗	(元副理事長、南蔵院住職)
〃	林 幹男	(前理事長、臨床心理士)
事務局長	河邊 正一	

(2022年6月11日現在 敬称略)





# 予 算 書

勘定科目		2022年度 当初予算(1)	2021年度 決算見込(2)	増減(3)=(1)-(2)	備 考	
事業活動による収支	収 入	その他の事業収入	5,805,000	5,804,000	1,000	
		補助金事業	5,000,000	5,000,000		福岡市
		自殺防止事業	400,000	400,000		朝日厚生文化事業団
		受講料事業	360,000	360,000		
		研修事業	45,000	44,000	1,000	
		寄付金収入	9,570,000	9,954,000	△ 384,000	
		賛助会費	70,000	62,000	8,000	
		千人会費	2,160,000	2,160,000		
		法人会費	1,840,000	1,840,000		
		寄付金	4,400,000	3,847,000	553,000	
	共同募金	700,000	700,000			
	その他	400,000	1,345,000	△ 945,000		
	受取利息配当金収入	10,000	5,031	4,969		
	受取利息	10,000	5,031	4,969		
	その他の収入	2,788,000	2,337,000	451,000		
	雑収入	2,788,000	2,337,000	451,000		
	事業活動収入計(1)	18,173,000	18,100,031	72,969		
	支 出	人件費支出	4,681,000	3,692,594	988,406	
		職員給料	900,000	902,400	△ 2,400	
非常勤職員給与		3,750,000	2,760,000	990,000		
法定福利費		31,000	30,194	806		
事業費支出		7,040,000	6,947,700	92,300		
研修費		2,550,000	2,441,000	109,000		
相談員諸費		1,850,000	1,776,000	74,000		
自殺防止事業		400,000	400,000			
連盟分担金		360,000	360,000			
広報費		1,250,000	1,178,700	71,300		
貸借料		630,000	792,000	△ 162,000		
雑支出						
事務費支出		6,452,000	6,764,925	△ 312,925		
旅費交通費		10,000	1,000	9,000		
事務消耗品費		880,000	905,000	△ 25,000		
水道光熱費		340,000	357,000	△ 17,000		
修繕費						
通信運搬費		687,000	684,000	3,000		
会議費		15,000	191,925	△ 176,925		
業務委託費	567,000	567,000				
手数料	240,000	301,000	△ 61,000			
賃借料(リース)	453,000	453,000				
土地・建物賃借料	3,240,000	3,240,000				
租税公課						
雑支出	20,000	65,000	△ 45,000			
事業活動支出計(2)	18,173,000	17,405,219	767,781			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		694,812	△ 694,812			
施設設備等による収支	収入	固定資産売却収入				
	その他の収入					
	施設設備等収入計(4)					
	支出	固定資産取得支出		692,570	△ 692,570	
その他の支出						
施設設備等支出計(5)		692,570	△ 692,570			
施設設備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 692,570				
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入				
	その他の収入					
	その他の活動収入計(7)					
	支出	積立資産支出				
その他の支出						
その他の活動支出計(8)						
その他の活動資金収支差額(9)=(8)-(7)						
予備費支出(10)	500,000		500,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 500,000	2,242	△ 502,242			
前期末支払資金残高(12)	4,754,717	4,752,475	2,242			
当期末支払資金残高(11)+(12)	4,254,717	4,754,717	△ 500,000			



## その方はお元気そうでした。

東京や大阪に比べたら小さな160万人の福岡市。この街に住んでいる悩み苦しむ人達は、1年365日24時間休まない「いのちの電話」に電話してきます。いろんな人がこんな小さな街で悩んでいます。今にも自らの命を断ちたいと言って電話先で呟いたり怒鳴ったり、力無く泣き伏したり。黙って三言しか聞き取れなくて、こちらが話す機会すらないままガチャッと切られたり。さまざまな通話者がいて、心がざらついたまま3時間半、喉が枯れそうになることもあります。そんなある日のこと、聴き覚えのある女性と会話が始められました。

少しだけ間があって、「あの、覚えていらっしゃるかなあ？ 前に長話をした者です。あれから何度も電話したけどなかなか繋がらないまま、お礼が言えなくて…。実はあの後、思い切って手術をし、なんとか生き延びて、お電話を差し上げられる身体になりました」。クリスマス寒波の前後、確かにその方とお話した記憶が少しずつ蘇りました。匿名性の故、名乗るわけにもいかず、まさに偶然の会話があった訳で、内心驚きつつその会話を思い出しました。手術をしなければまずは3か月もてば良い方と医師から宣告された。今週末までに手術するかどうか返事をしなくてはならない。私だけを頼りにして自宅にいる病弱な母。私には子供も配偶者もない。金銭面も不安だらけで気力も失せ、手術に耐える体力も残ってない気がする。今となっては、その医師を信頼するしかなくなっている。いっそ自死できるものならそうしたい。余り食事もせず睡眠不足でふらふらしたままで、携帯すら重いと感じるという趣旨だったと記憶しています。

休息することが大事だと直感的に判断した私は受話器を握りなおし、好きなもの、食べたいものをしっ

かり食べ、熟睡できるよう風呂に入って身体を温め、たっぷり睡眠を取り、休む事が大事だと伝えました。しっかり休息を取った明日の朝、手術をするかどうか、もう一度考えて決めたらというやり取りをしました。電話からは手術を前に揺れ動く心理が手に取るように私に伝わりました。医師を信頼し、希望を持って選択して欲しい旨を熱く伝えると、少しずつ落ち着いた雰囲気が感じられ、食べて久しぶりゆっくり寝て、朝、もう一度考えてみると答えられたように記憶しています。その方からの電話が、その日当番の私に偶然繋がりました。再度会話ができ、初めて元気な声が聞けて、こんな事もあるんだと嬉しくなり電話を置きました。

相談員が不足しているのに11年目に私は電話ボランティアを卒業しました。まだ継続している仲間から引き止められましたが、今は仕事上現役続行しながら福岡いのちの電話の理事だけは継続することにしました。10年間、善人ぶって知ったかぶりしてたまに虚しい気持ちにもなりました。でもね、必要かどうかと問えば、“誰かが聴き手にならないといけない”が続いての今まででした。相談員の成り手が減っているなか辞めるに辞められずにきた73歳、すっかりジジイになってしまいました。





## 2022 年度第 1 回全体研修

# 電話相談の終わり方を考える

5月28日（土）午後1時から、福岡市中央区のTKPガーデンシティ天神で、2022年度第1回全体研修を開催しました。参加者は、74名でした。

福岡いのちの電話の教育委員長松尾公孝氏が講師となり、「電話相談の終わり方を考える」と題して、昨年度の第3回全体研修の「対応に苦慮する電話～性や怒り、相談員に対する攻撃など～」に引き続き、相談電話における終わり方に関してお話をいただきました。講義終了後にグループワークを開催し、相談員相互の意見交換及び体験の共有化を行いました。



梅園治



笑福亭 風喬



笑福亭 呂好

# 里帰り納涼寄席

福岡いのちの電話チャリティイベント

夏恒例の「上方落語福岡県人隊」の皆さんによる里帰り納涼寄席。コロナ禍で見合わせていましたが、今年度は感染対策を十分に施してお届けいたします。出演は「上方落語福岡県人隊」の3人の皆さまです。大いに笑い、暑さを吹き飛ばして夏を乗り切りましょう。夏の夕べのひとつきを、ご家族やお知り合いの方と一緒に楽しみたいだければ幸いです。

2022年

8月3日 水 開演 19:00～20:30  
開場 18:30

入場料 2,000円 (高校生以下 1,000円)

会場 ▶ ふくふくプラザホール

チケットのご予約は、お名前、住所、連絡先、枚数を明記して下記までご連絡ください。

電話 092(713)4343

FAX 092(721)4343

E-mail find4343@sirius.ocn.ne.jp





渡辺一子・八恵子	10,000
川谷大治(川谷医院)	20,000

**賛助会**

貞池龍彦	4,000
正田美加	3,000
大久保尚子	3,000
井上真知子	10,000
西宗寺	5,000
原田元子	2,000
久保カヨ子	5,000
五斗みち子	5,000
高原信一	3,000

**一般寄附**

福岡女学院教会	5,000
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ	250,000
國代壽美子	100,000
自殺予防公開講座 募金箱	10,978
福岡城東ライオンズクラブ	500,000
旗島淑子	3,000
福岡いのちの電話 事業ボランティア会	150,000
学校法人 福岡女学院	45,672
株式会社CYS	250,000
執行好子	10,000
TOGGY OPEN事務局	50,000
匿名	11,000
田中幸彦	2,000
匿名	5,000

鉄崎廣生	10,000
藤田宗春	30,000
匿名	5,000
石村重哉	5,000
五十嵐実(株福岡住宅センター)	10,000
匿名	3,000
新郷桂子(福岡太陽ライオンズクラブ)	10,000
大野道雄	10,000
青木 悟(カトリック福岡司教館)	3,000
入江春代	10,000
友納智子	10,000
田中幸彦	3,000
吉村松子	10,000
一刈吉房	10,000
九州電力(株)	200,000

**法人会**

株式会社CYS	30,000
(医)心和堂 後藤クリニック	30,000
(株)愛しとーと	30,000
(医)益田クリニック	30,000
九州八重洲(株)	30,000
ジャパン福岡ペブシコーラ販売(株)	30,000
(株)ふくや	50,000
西部ガスホールディングス(株)	200,000
(一社)福岡市医師会	30,000
九電産業(株)	30,000
(株)サイブモータース	30,000
(株)西日本シティ銀行	100,000

九州旅客鉄道(株)	100,000
(株)新出光	100,000
西日本鉄道(株)	100,000
九州朝日放送(株)	60,000
九州石井運輸(株)	30,000
(株)電気ビル	30,000
西日本技術開発(株)	30,000
(株)九州エース電研	300,000
リンナイ(株)九州支社	30,000

**助成金**

(社福)朝日新聞厚生文化事業団	150,000
(公財)毎日新聞西部社会事業団	100,000
(社福)福岡県共同募金会	700,000

**コカ・コーラ支援自販機**

(財)恵愛団(九州大学病院内)	67,352
西部ガスホールディングス(株)(パピヨン24内)	88,233
西部ガスホールディングス(株)(油山研修所内)	955
西部ガス都市開発(株)(サンテ飯倉内)	2,234
西部ガス都市開発(株)(ニシコー千代ビル内)	6,860
(有)ダイキ通信工業(自社内)	20,450
南蔵院(JR城戸南蔵院駅)	26,730
(株)西日本新聞社(本社)	88,971
(株)西日本新聞社(製作センター)	54,679
(株)福岡住宅センター(鳥飼1丁目パーキング)	4,977
福岡県弁護士会(福岡県弁護士会館内)	6,031
JFEパイプライン(株)(自社内)	3,618

**ご寄附は下記の振込先までお願いします**

銀行口座：口座名義＝社会福祉法人 福岡いのちの電話  
 福岡銀行赤坂門支店 (普) 1147617  
 西日本シティ銀行天神支店 (普) 2131458  
 郵便口座：福岡いのちの電話 01720-9-1037

千人会 1口1万円/年(何口でも)  
 賛助会 1口2千円/年(〃)  
 法人会 1口3万円/年(〃)

ご面倒をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

**税制の優遇措置があります**

社会福祉法人の認可を受けておりますので、寄附をされた場合、法人の場合は損金扱いに、個人の場合は年間所得の25%まで寄附控除が受けられるといった、税制上の優遇措置の対象となります。また、福岡市個人市民税の寄附税額控除が受けられます。



# INFORMATION

## インフォメーション

日誌 2022.3.1~2022.5.31

### 3月

- 1 事業ボランティア「手づくり会」
- 2 第47期生養成講座  
(講師：岡 秀樹氏)
- 5 インターネット相談活動班会
- 7 相談活動運営委員会
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 12 インターネット相談事業委員会  
(リモート)  
ボランティア養成サポーター会  
班会
- 15 朝日新聞厚生文化事業団「助成金贈呈式」  
事業ボランティア「手づくり会」  
事業ボランティア定例会
- 16 事務局会議
- 17 第47期生養成講座  
(講師：松崎佳子氏)  
第12回理事会
- 18 受信資料検討班会
- 20 自殺予防公開講座  
(講師：山本晴義氏)  
研修運営班会
- 23 第12回教育委員会  
インターネット相談実施センター会議(リモート)

- 26 ボランティア養成サポーター会  
班会
- 27 リフレッシュ研修(41期生~43期生)
- 30 第47期生養成講座  
(講師：松尾公孝氏)

### 4月

- 4 相談活動運営委員会
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 12 事業ボランティア「手づくり会」
- 13 第47期生養成講座(演習①)  
〃 第1回教育委員会
- 15 連盟インターネット相談員養成  
研修(OJT)
- 16 自主研修「ケースと私」  
(リモート)
- 19 事務局会議
- 21 福岡鶴城ライオンズクラブ50周年  
記念式典「寄附金贈呈式」
- 22 受信資料検討班会
- 23 研修運営班会
- 25 会報企画会議
- 26 事業ボランティア「手づくり会」
- 27 第47期生養成講座  
(講師：福盛英明氏)
- 28 第1回理事会

### 5月

- 9 内部監査  
相談活動運営委員会  
連盟インターネット相談員養成  
研修(OJT)
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」  
事業ボランティア「手づくり会」  
第47期生養成講座(演習②)  
第2回教育委員会
- 14 インターネット相談活動班会
- 17 評議員選任・解任委員会  
社会資源活動班会
- 20 受信資料検討班会
- 21 連盟インターネット相談員養成  
研修(OJT)
- 23 スーパーバイザー会
- 24 事業ボランティア「手づくり会」  
第47期生養成講座  
(講師：川谷大治氏)  
第2回理事会
- 27 事務局会議
- 28 第1回全体研修  
(講師：松尾公孝氏)  
(フリーダイヤル研修を兼ねる)  
研修運営班会

## 【編】集【後】記

2月24日にロシアがウクライナへの侵攻を始めました。短期終結の目論みは外れて今も戦闘が続いています。この長い戦争で、日々多くの人々の命が失われ、財産や仕事、日常が奪われています。第二次大戦後77年の今もなお、どうして人はこれほど残酷に人を痛めつけるのでしょうか。

人類は進化の過程で、相反する2つの能力を手に入れました。食料を獲得し、パートナーを見つけ、縄張りを守るために攻撃性を進化させる一方で、子どもたちを育て、仲間と助け合って生きるために思いやりと共感力を身に付けました。山極寿一(人類学者)は、「人は、言語によって実際に見ていないことや聞いていないことを共有できるようになったことで、家族や職場といったリアルな共同体を超越した国家や民族という幻想の共同体を作り出し、それが過酷な戦争を可能にした」とする一方で、「育児の共同、共食、コミュニケーション、音楽による感情の共有といった社会性の根源的能力を用いれば『分かち合う社会』を作ることにもできる」とも言います。

人の言葉は、殺戮や攻撃の力となる一方で、思いやりや共感を込めて発せられれば生きる力になります。人の言葉で傷ついた心は、人の言葉で癒すことができます。ときに荒々しい言葉に出会いますが、それも怖れや不安の現れとして丁寧に聴き、共感の言葉を返していきたいと思えます。

(Y. T.)

### 電話受付件数

2022年3月~2022年5月

受付件数	3,499件
延べ相談員数	950人
延べ受信時間	107,530分

### 発行所

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7  
社会福祉法人 福岡いのちの電話

TEL (092) 713-4343・FAX (092) 721-4343

ホームページアドレス  
<http://www.f-inochi.org/>

発行人 久保 千香  
編集人 古賀 俊次



この「会報」は共同募金の配分金で作成しています。